

設置者・園長 様

(公社)横浜市幼稚園協会
会 長 荻込 大
教育研究部長 芝崎 恵子

特別研究委員会開催のお知らせ

今年度も新しい子どもたちとの出会いに、皆さんもドキドキと共にワクワクを感じられているのではないのでしょうか。

今年入園してきた3歳の子どもたちが1歳の頃から新型コロナウイルスの蔓延が始まり、保護者の方々も不安の中で子育てをされてきたことと思います。人との関わりが大切な時期、祖父母にもなかなか会えず、外に子どもを連れだして良いのか、地区センターや公園でも距離感をどのように考えたら良いのか、悩むことばかりだったのではないのでしょうか。幼稚園での集団生活も今までとは少し意味が異なるかもしれません。

私も子どもや保護者に対しその時々で、何が大切で、自分が保育者として何をしたら良いのかを考えながら動いていかなければならないと日々思っていますが、更に今は、これまでの状況も考えていかなければと感じています。

しかし、それはなかなか難しいことで、自分ひとりでは大変なことです。そんな時、自分と立場の近い先生たちと語り合うことは何よりの道標となります。

幼稚園協会では、今年度も特別研究委員会を開催いたします。保育環境、主体性、対話、関わりの難しい子などをキーワードにそれぞれのテーマに沿って、3つの特研で子どもたちの姿や自分の保育について語り合うことが、先生方の「明日の保育」に新たな視点や彩りを加えてくれるのではないのでしょうか。

オンラインと対面と、その時の状況により使い分けての開催になるかと思えます。先生方のご参加を心よりお待ちしております

参加ご希望の方は、**2022年4月21日(木) 0:00**から幼稚園ナビよりお申込みください。園長・設置者管理画面からも、個人のマイページからお申し込みいただけます。なお、各委員会ともに、グループを編成して話し合いを進めていきますので、お手数ですが欠席及び遅刻に関してはその都度必ず協会事務局までご連絡ください。

(公社)横浜市幼稚園協会事務局
横浜市神奈川区大野町1-25
横浜ポートサイドプレイス アネックス5F
TEL 534-8708 FAX 453-1120
info@kids-yokohama.or.jp

▼欠席連絡等はこちらまで



お申込みにあたって

- 申込定員 各 60 名
※多くの方に参加の機会を広げるため、園ごとの参加人数が多くなりすぎないようにご配慮ください。
- 申込期間 2022 年 4 月 21 日(木)～4 月 28 日(木) ※定員になり次第受付終了致します。
- 年間を通しての研修会ですので、各委員会の第 1 回をお申込みいただければ、次回からは自動的に継続されます。
- 各委員会の第 1 回目は、オンラインでの開催を予定しております。グループに分かれて話し合いを行うため、1 人 1 端末でご参加頂けますようご協力ください。
- オンラインで受講された場合は、『幼稚園ナビ』からのレポート提出が必須となります。
- 2 回目以降は感染状況により、対面での開催も予定しております。

特別研究委員会『1』 助言講師:宮里 暁美 先生(お茶の水女子大学アカデミック・プロダクション 特任教授)

遊びの育つ環境とは？

俯瞰図番号:E4



今年度のテーマは『遊びが育つ環境とは？』です。昨年に引き続き、宮里暁美先生（お茶の水女子大学こども園元園長・お茶の水女子大学教授）を講師にお招きして、実践を持ちよる研究会を行なっています。

子どもたちは、保育室や園庭など様々な場で遊びますが、その環境に少し変化を加えたり、何かを置いてみたりすることで新たな遊びが生まれることがあります。子どもの動きや思いを受け止めて、さらにもう少し工夫することで、さらに面白くなっていきます。新たな発見があります。みんな違ってみんないい。思うことを率直に語り合おうではありませんか。

写真などを用いて各グループがその環境について語り合い、様々な保育者のアイデアを聞くことで、自分の園の環境（保育室・園庭など）について見直す良いきっかけが得られるかもしれません。環境を変えたことで子どもの姿にどのような変化があったのかについても語り合しましょう。

その上で、自分たちの“夢の幼稚園”（こんな環境の幼稚園があればいいなというもの）についてプランを出し合い絵や造形で表してみるのも面白いかな、と思っています。“アフォーダンス（環境の様々な要素が人に影響を与え、感情や動作が生まれること）”の研究者の話聞く会も設定し、広い視野で実践を捉えられるようにしていきたいと思います。

特別研究委員会『2』 助言講師:三谷 大紀 先生(関東学院大学教育学部こども発達学科准教授)

子どもとの対話を対話しよう ～子どもの主体性を尊重した保育の充実を目指して～

俯瞰図番号:B2

昨年度に引き続き、特別研究2のキーワードは、「対話」です。「子どもとの対話を対話しよう」というちょっとわかりづらいテーマに込めた思いを以下に説明します。

コロナ禍であっても、そうでなくても、保育は、子どもと対話しながら作っていくものです。それは、あそびや環境構成などを考える際に、単に子どもと話すことが必要だということではありません。目の前の子どもが今何に興味・関心を向け、どんな楽しみや問いを生み出しているのか、子どもの探求をともに探求し、感じ・見取り・応えることを意味します。その思いを、タイトルの「子どもとの対話」に込めました。

でも、言うほど簡単ではないでしょう。ですから、自分自身が感じた・見取った子どもの姿や自分自身が応えている過程を同僚と対話することが必要不可欠です。それもまた言うほど簡単ではないでしょう。そこで、自分自身の子どもとの対話している過程や、同僚との対話過程を、特研2に持ち寄り、他の参加者と対話し、多様な見方やかかわりを考える機会にできればと思っています。それが、タイトルの「子どもとの対話を対話しよう」に込めた思いです。

具体的には、それぞれがいま取り組んでいること、これから取り組みたいこと、そこから見えてきたことなどを、写真等を持ち寄りながら参加者同士で語り合い、子どもの姿を共有しながら、子どもの探求の見取り方や、子どもの探求を支えるための保育のあり方（子ども理解・同僚関係・保育計画・保護者との協働・園内研修のあり方など）を吟味していきます。また、子どもの姿と対話するための手法や同僚との対話を促進するためのツールもワークショップ形式で紹介していくつもりです。それらをヒントに各園で実践し、その様子をまた次回持ち寄り、さらに語り合うことを通して、「子どもの主体性を尊重した保育」の充実のためにできることを皆さんとともに考えたいのです。

「環境構成を何か工夫したい!」、「保育をより面白くしたい!」、「でも、実際にやるとなると、何から手を付けたらよいか悩んでしまう」等々、どんな人でも大歓迎です。誰にでも、チャレンジしたり、工夫したり、他の参加者に貢献できることが必ずあります。各園から複数名で参加すると、きっとより楽しく、面白くなると思います。

子どもや保育について語り合い、保育をより楽しく、面白くするヒントを掴んでいくなかで、結果としてそれぞれの先生方が、園が、「子どもの主体性を尊重した保育」をより充実させていく糸口になればと願っています。



特別研究委員会『3』 助言講師:吉川 和幸 先生

(国立特別支援教育総合研究所 研修事業部総括研究員)

気になるあの子の視点から保育を見直してみませんか ～どう見取る? どう支える? どう繋ぐ?～

俯瞰図番号:D3



新年度が始まり、少しずつ新しい学年で過ごす子どもたちや保護者の様子が見えるようになってきた時期です。先生たちは日々保育をしている中で、「なぜこの子はクラスから出て行ってしまおうのだろう?」「どうしてあの子はトラブルばかり起こすのだろう?」「このクラスは手がかかる!」と悩み、困ったり、大変だなと感じたりすることはありませんか?

今年度の特別研究委員会3は、国立特別支援教育総合研究所の吉川和幸先生が担当します。吉川先生は、インクルーシブな保育の研究者として、“子どもの姿をどう見取ればよいのか” また、“見取りを基に、どのように子どもの自己発揮を支えていけばよいのか”、“子どもの育ちをどう次へと繋げていけばよいのか”といったことについて、保育の場で、子どもや保

育者と関わりながら、日々研究をしている先生です。

この特研3では、障がいのあるなしに関わらず、関わりが難しい子、目立ちはしないけれどどこか気になる子、外国籍、家庭環境の影響等々、様々な環境の中にいる子どもたちの姿を捉え、その関わり方について考えていきます。参加の先生同士で、お互いの事例を持ち寄り話し合いながら、日々の保育を一緒に見直してみませんか? 対話を通して「あの子が今、気になることはなんだろう?」「あの子は今、どんな気持ちでいるのだろうか?」「あの子に今、必要なことはなんだろう?」と、子どもを見る視点を変えると、自然と保育の糸口が見えてくるかもしれません。様々な考えを持つ子どもたちがいるからこそ、毎日の保育がもっと楽しくなる! 子どもたちの発想って面白い!! そんな風に思えるようになるといいですね。色々な園の先生たちと、保育のあり方について悩みを話し合える機会はなかなかありません。ぜひ一緒に日々の保育を試行錯誤して、多様な子どもがいる保育の必要性や子どもの育ちに大切な環境づくりについて検討していきましょう。

2022年度 特別研究委員会年間予定

会場 かながわようちえん会館会議室/オンライン (その都度メールにてご連絡いたします。)

時間 午後4時～6時

特別研究委員会「1」

テーマ 遊びの育つ環境とは?

講師 宮里 暁美先生

(お茶の水女子大学アカデミック・プロダクション 特任教授)

(俯瞰図番号: E4)

第1回	第2回	第3回	第4回	第5回	第6回	第7回	第8回	第9回
5/11(水)	6/15(水)	7/11(月)	9/8(木)	10/14(金)	11/9(水)	12/12(月)	1/16(月)	2/7(火)

特別研究委員会「2」

テーマ 子どもとの対話を対話しよう ～子どもの姿との対話から生まれる保育を考える～

講師 三谷 大紀先生 (関東学院大学 教育学部子ども発達学科 准教授) (俯瞰図番号: B2)

第1回	第2回	第3回	第4回	第5回	第6回	第7回	第8回	第9回
5/19(木)	6/16(木)	7/14(木)	9/15(木)	10/13(木)	11/24(木)	12/22(木)	1/12(木)	2/2(木)

特別研究委員会「3」

テーマ 気になるあの子の視点から保育を見直してみませんか ～どう見取る? どう支える? どう繋ぐ?～

講師 吉川 和幸 先生

(俯瞰図番号: D3)

(国立特別支援教育総合研究所 研修事業部総括研究員)

第1回	第2回	第3回	第4回	第5回	第6回	第7回	第8回	第9回
5/20(金)	6/17(金)	7/21(木)	9/16(金)	10/21(金)	11/18(金)	12/16(金)	1/19(木)	2/3(金)

※新型コロナウイルス感染症の状況によって日程変更や中止となる場合は、メールでお知らせいたします。